

はつ でん しょ 発電所と まわりの生き物たち

かんきょう ぼぜん へん
～エコキッズレポート 環境保全編～



地域とともに、地域のために



沖縄電力

沖縄電力株式会社 環境部

〒901-2602

沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号

Tel:(098)877-2341

<http://www.okiden.co.jp>



発行 / 2018年3月
第2版 / 2024年3月



この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。

はつ でん しよ かん きょう 発電所のまわりの環境

ニライくんとカナイちゃんは火力発電所へ見学に行きました。

はつ でん しよ
発電所には木が
いっぱいあるのね

はつ でん しよ
発電所のとなりに
うみ
海がみえるよ

ようこそ!

はつ でん しよ
発電所

すい ろ
水路

うみ べ
海辺

しょう
サンゴ礁

解説

おきなわ でん き おも ねんりょう も つく かりよくはつ でん つく
沖縄の電気は、主に燃料を燃やして作る「火力発電」で作られています。

かりよくはつ でん しよ ねんりょう ふね ゆ そう おお でん き つく
火力発電所は、燃料を船で輸送することが多く、また電気を作るときには

れいきゃくよう たりょう かいすい ひつよう うみ ちか けんせつ
冷却用に多量の海水が必要となるため、海の近くに建設されます。

はつ でん しよ でん き つく さい しょう はいしゅつ はいすい かんきょう
発電所では、電気を作る際に生じる排出ガスや排水などによる環境

えいきょう きょくりょくていげん たいさく おこな し ぜん
への影響を極力低減するため、さまざまな対策を行うとともに、自然

かんきょう けい かん ちょうわ せいぶつ た ようせい はいりよ もくてき かんきょう ぼ ぜん
環境・景観との調和、生物多様性への配慮などを目的とした環境保全

かつどう おこな
活動を行っています。

発電所のまわりの生き物

海辺の生き物

海辺には、いろいろな生き物がたくさんいるよ。
実は、地面の中にもいろいろな生き物があるんだって。

どんな生き物があるかな？



コサギ

クチバシが黒く、黒い足に黄色のくつ下をはいたような指をしています。



ミナミコメツキガニ

カニなのに横には歩かず前に歩きます。エサを食べながら大群で移動します。



ルリマダラシオマネキ

青い背中とオレンジのハサミのシオマネキ。オスは大きなハサミをフリフリ動かします。



シロチドリ

砂浜に巣を作ります。巣に敵が近づくと、ケガをしたふりをして巣から注意をそらします。



チュウシャクシギ

長いクチバシを泥の中にさしてゴカイなどのエサをとります。



ミナミトビハゼ

魚なのに陸ですぐす時間が長く、泥の上をぴょんぴょん飛びはねて移動します。

サンゴ礁の生き物

サンゴ礁は生き物にとって大事なすみかや、エサ場になっているんだ。別名「海のゆりかご」と呼ばれることもあるよ。



藻場
海そうがたくさん生えている場所



クサイロカノコ



アオリイカの卵



サンゴ群落
サンゴがたくさんいる場所



ツノダシ



ヤイトサクラエビ

※ここでは、藻場とサンゴ群落を含む環境をサンゴ礁としています。

水路の生き物

川と海をつなぐ水路には、海と川の生き物が同時にみられるよ。それらをエサにする生き物がいろいろいるよ。

いろんな生き物があるね



カワセミ

青い背中とオレンジ色のお腹がきれいな鳥です。低空飛行で水中にとびこんで小さな魚をつかまえます。



パン

ヤンバルクイナのなかまで、黒い体と赤いクチバシの鳥です。水かきはないけれど泳ぎも得意です。

発電所内の生き物

発電所内にはたくさんの植物があって、いろいろな生き物がたくさんいるよ。
夜になると昼間とはちがった生き物が見られるよ。



アオサギ

全長90cmを超える日本最大のサギ。
飛ぶときには首が“Z”の形に曲がります。



リュウキュウジャコウネズミ

ネズミという名前だが、モグラのなかま。
親のしっぽを子がくわえ、さらにそのしっぽを他の子がくわえて移動します。



イソヒヨドリ

オスの体がはなやかな青色なのに対して、
メスはじみ灰色をしています。



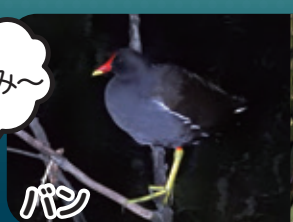
オオゴマダラ

日本のチョウの中でも最大級の大きさ。
ゆったりと飛びます。さなぎは金色です。



夜は生き物の
寝場所にも
なるよ

夜に活動する
生き物も
いるよ



パン



ヌジロ



オリオオコウモリ

発電所の環境対策

発電所の森づくり

環境を守るために、発電所の中にたくさんの木を植える緑化を
行っているから、いろんな生き物がやってくるんだよ。

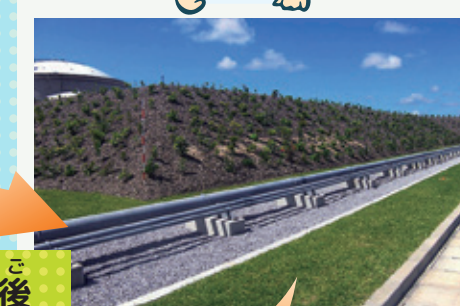
どんどん
みどり
緑がふえて
いくね



緑化前



緑化後



1年後

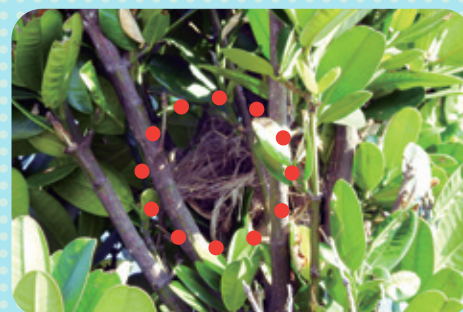
【緑化の様子（吉の浦火力発電所）】



5年後



2年後



フクギの木に作られた鳥の巣



沖縄にもともと
ある木を植えて
いるんだね

解説

発電所では自然環境・景観との調和
などを目的に、周辺環境に合わせた
樹木を用いた緑化を行っています。

発電所の環境対策

発電所をつくるときには

発電所をつくる工事を始める前には、より環境にやさしい発電所にするために、いろいろ調べて工夫する環境アセスメントをするんだよ。



解説 発電所の建設にあたっては、あらかじめ環境に与える影響を予測・評価し、適切な環境配慮を行う環境アセスメントを実施しています。また、建設工事にあたっては、地域環境および生物多様性に配慮した対策を実施しています。

発電所ができた後には

発電所ができた後も、ちゃんと環境にやさしくなっているか確かめる、環境モニタリングをしているよ。

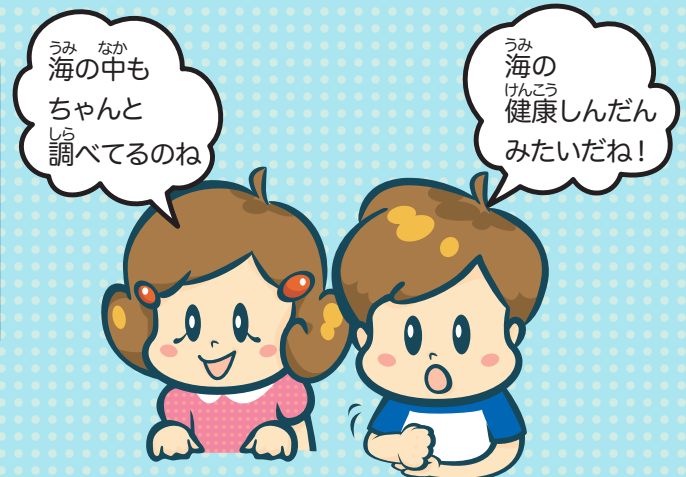


発電所のまわりの海のサゴが元気か調べています。

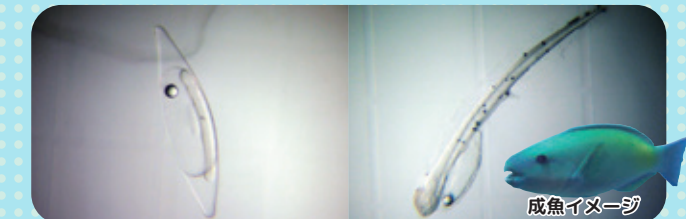


魚の卵や赤ちゃん、魚のエサになるプランクトン※がどれくらいいるかを調べて、発電所のまわりの海が生き物にとって安心して住める環境かを調べています。

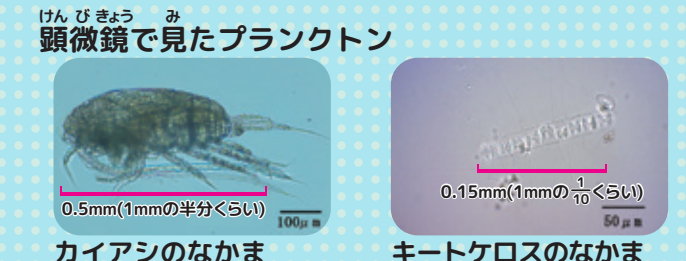
※プランクトンとは？
海などの水の中や水面をただよいながらくらしている生き物で、1mmより小さなものが多く魚などのエサになります。顕微鏡などで観察することができます。



カサゴのなかまの卵(左)、赤ちゃん(右)



ブダイのなかまの卵(左)、赤ちゃん(右)



解説 発電所では、大気・水質・騒音・振動などに関する環境保全対策を実施しており、周辺環境への影響を監視するモニタリング調査も実施しています。

沖縄電力の取り組み

ほかに おきなわでんりょく かんきょう とく ぐみ
 その他にも沖縄電力では、さまざまな環境にやさしい取り組みを
 おこな
 行っているよ。

サンゴの植え付け



う つ ちやくご ねん
 植え付け直後 (2009年)

ねんご (2012年)

ねんご (2016年)

よし うら かりよくはつでんしょぜんめんかいいき
 吉の浦火力発電所前面海域

解説

かいいき せいぶつ た ようせい はいりよ はつでんしょぜんめんかいいき
 海域における生物多様性への配慮のため、発電所前面海域において
 う つ けい か かんさつ おこな
 サンゴの植え付けならびに経過観察を行っています。

海浜清掃活動



植樹活動



解説

ち いきこうけん かんきょう ほ ぜん もくてき かいひんせいそう しょくじゅかつどう とく ぐみ
 地域貢献や環境保全を目的に海浜清掃や、植樹活動に取り組んでいます。

おきなわでんりょく でんき
 沖縄電力って電気を
 つく
 作るだけじゃなくて、
 かんきょう まも
 環境を守る取り組み
 もしているんだね

わたしたちも
 かんきょう まも
 環境を守るために
 できることを
 やってみよう!

みんなができること

みんなができることを考えてみよう。



自然にふれよう

- やま うみ いえ がっこう い もの かんさつ
 ・山や海、家や学校のまわりにどんな生き物がいるか観察
 してみよう。
- しら い もの すかん しら
 ・知らない生き物がいたら、図鑑などで調べてみよう。



自然を守ろう

- うみ やま で とき も かせ
 ・海や山などに出かけた時にでるゴミは持ち帰ろう。
- ペットは最後まで責任を持って飼おう。
- しぜん まも かつどう さん か
 ・自然を守る活動に参加しよう。



自然について話してみよう

- かぞく ともだち しぜん はな
 ・家族や友達と自然について話してみよう。

どんなことが
 できるかな?



わたし
 私たちを
 かんさつ き
 観察しに来てね

ま
 待ってるよ

つぎ
 次のページは
 かんさつ
 観察ノートに
 なっているよ

かんさつ
 観察をするときの
 ちゅうい
 注意をちゃんと
 よ
 読んでね

生き物を観察してみよう

観察ノート

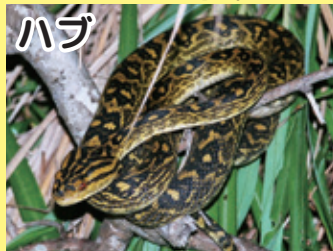


観察をするときの注意

- ・他人の家や畑などに勝手に入らない
- ・海や川、山などのキケンな場所に子どもだけで行かない
- ・ひとりでは行かない
- ・ケガや熱中症に気をつける
- ・キケンな生き物に注意する



※かまれたり、さされたらまわりの人に助けをよんでもらうか
119番で救急車をよぼう！



ハブ
畑や草むら、枝の上、石垣の穴などにもいる。見かけても決して近づかない。



ハチ
(スズメバチ、アシナガバチなど)
森の中、草むらなどに巣を作っている。巣に近づいたりしない。おそってきたら、その場からすぐにはなれる。

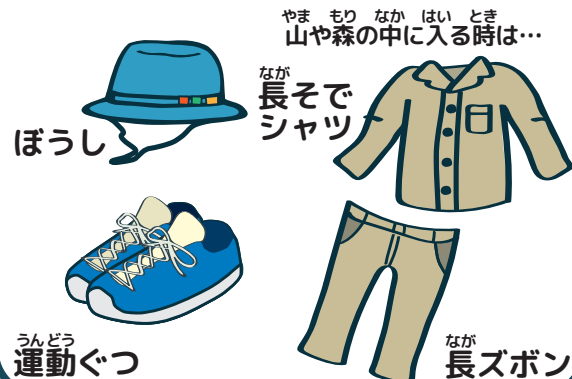
海のキケンな生き物については、ここにくわしくのっているよ！



海のキケン生物!!
おきなわかん (沖縄県HP)

※そのほかにも、ムカデ、毛虫(キドクガのなかま)などにも注意しよう。

観察するときの服そう



観察するときの持ち物



スケッチ

なまえ

観察した日 / 時間
年 月 日 () / 時

観察した日の天気

観察した場所

とくちょう

大きさ

かたち
形

いろ
色やもよう

気づいたこと

調べてわかったこと

発電所のまわりで見かける生き物

オキナワキノボリトカゲ



おも き うえ むし
主に木の上にいる、虫を
た たいちょう
食べる。体長6~8cm。
メスよりオスが大きい。
ほうげんめい
方言名：アタクー、
コーレーグースクェー

インガケチョウ



ひら おお
ハネを開いた大きさは
4~5cmで、とまる時
はいつもハネを開いて
いる。

オリオオコウモリ



ひろ
ハネを広げるとカラス
くらいのおおの大きさ。夜に
かつどう ひるま き
活動し、昼間は木にぶら
さが やす
下がって休んでいる。
ほうげんめい
方言名：カーブヤー

アオサギ



ぜんちょう こ こくない
全長90cmを超える国内
さいだい ひがた すいでん
最大のサギ。干潟、水田、
すいろ しっち みずべ
水路、湿地など、水辺に
せいそく
生息している。
ほうげんめい
方言名：サージャー

オカヤドカリ



なまえ おか す
名前のとおり陸に住む
ヤドカリ。海岸の植物
ねもと
の根元によくいる。
どうぶつ し は
動物の死がいや葉っぱ
なん た
など何でも食べる。
ほうげんめい
方言名：アーマン

パン



おお
ハトくらいの大きさ。
あか きいろ あし
赤いクチバシと黄色の足が
めだ とり かわ すいろ すいでん
目立つ鳥。川や水路、水田
こんちゅう しよくぶつ
などにいる。昆虫や、植物
た
のタネなどを食べる。
ほうげんめい
方言名：クミラー

オキナワアオガエル



みどりいろ
大きさは5~6cmの緑色
きれい
の綺麗なカエル。
もり しがいち
やんばるの森から市街地
ひろ せいそく
まで広く生息している。
ほうげんめい
方言名：アタビー、
ウーアタビー

オキナワカブトムシ



おも おきなわほんとうほくぶ
主に、沖縄本島北部や
くめじま せいそく
久米島などに生息してい
る。大きさは3~5cm。
ほんど くら
本土のカブトムシに比べ
つの みじか
角が短い。

ミナミコメツキガニ



たいちょう ちい
体長1cmほどの小さな
カニ。カニなのに横に
ある まえ ある
は歩かず前に歩く。
しお ひ どりひがた
潮が引いた泥干潟を
たいぐん いどう
大群で移動する。

オオゴマダラ



ひろ
ハネを開くと13cmに
にほんさいだいきゅう
もなる日本最大級の
チョウ。さなぎは金色
を せいそく
している。幼虫は
しょうちゅう
ホウライカガミという
しよくぶつ た
植物しか食べない。

ルリマダラシオマネキ



せなか りりいろ
背中が瑠璃色で、はさみ
いろ うつ
がオレンジ色をした美しい
シオマネキ。オスは片側の
あお
はさみが大きい。

イソヒヨドリ



せなか あおいろ しろがわ
オスは背中が青色で腹側が
あかちいろ はいいろ
赤茶色で、メスは灰色と
ちやいろ かいがん いわば しがいち
茶色。海岸の岩場、市街地
せいそく みぢか とり
などに生息する身近な鳥。
ほうげんめい
方言名：イシスーサー

ミサゴ



つばさ ひろ
翼を広げると160cmにもなる大きなタカの
なかま そら すいちゅう
仲間。空から水中にとびこんで、するどい
ツメでエサとなる魚をつかまえる。

ファイリマンゲース



くじよ もくてき も がいらいしゅ
ハブの駆除などの目的で持ちこまれた外来種。
じっさい るい るい こんちゅうるい ほしよく
実際はトカゲ類、カエル類、昆虫類などを捕食
おきなわ せいいたいけい わる えいぎょう あた
し、沖縄の生態系に悪い影響を与えている。

天然
記念物